

絶好調の松下電器産業、V字回復の立役者に学ぶ「考える力」子育てタクシーP94~

# 日経ビジネス Associé

2002年10月  
火曜出版

ニュースのキーパーソン  
**デイヴィッド・ベッカム**  
サッカー選手

渡邊美樹の  
「ミキズム」

柳井 正の  
「経営という仕事」

2007年2月20日発行(毎月2回第1・第3火曜日発行) 第6巻第4号通巻118号 2002年10月3日第三種郵便物認可

アソシエ 2007 02・20 定価 550円

## いま幸之助の哲学があなたを伸ばす 松下電器に学ぶ 「変える力」

松下はなぜV字回復を果たしたのか  
立役者たちの**意外な行動習慣**

「雑炊を最初に食べるな」「言いだしべえにやらせろ」  
松下社員が受け継ぐ**至言・名言集**

ケーススタディー  
松下若手社員たちの**究極の仕事術**

スペシャルレポート  
広がり始めた草の根**少子化対策**  
「子育てタクシー」とは?

毎月第1、第3火曜日 発売





香川県発

# 広がり始めた草の根「少子化対策」 「子育てタクシー」とは？

急な仕事で子供を託児所に迎えに行けない…。  
そんな時、子供に関する様々な研修を受けた専門のタクシー運転手が駆けつける。  
企業とNPOが手を組み考えた、本当に役に立つ子育て支援事業を紹介。



## 3 なごやかな車内

「今日は学校で何をしたの?」。車内で楽しく過ごせるよう会話の中身には気をつける



## 2 乗車の時は寄り添って

子供の行動は予測できない。急に道路に飛び出したりしないように寄り添う



## 1 玄関までお迎え

迎えに来た時は、車を降りて玄関まで行く

text by 三木いずみ + photographs by 佐藤尚人、清水 健

**少** 子化対策、子育て支援は今や国を挙げて取り組むべき重要な課題となっている。そんな中、NPO(非営利組織)と地域の企業が手を組んでスタートさせた草の根の子育て支援事業が、利用者を着実に増やし、大きな事業に育とうとしている。そのユニークな試みとは「子育てタクシー」だ。

共働きの親が、急な仕事で定時までには託児所に子供を引き取りに行けなくなった時、代わりに子供の扱いに慣れたタクシーの運転手が迎えに行つて自宅まで送つたり、親の留守中に学習塾や習い事の教室への送り迎えなどを行うサービスである。子供の送迎に限らず、妊婦を病院に送るなど、大人(親子一緒)の利用にも対応する。

2004年6月、子育て支援を手がける香川県のNPO法人「わははネット」が、同県内の花園タクシーに企画を持ち込んだことから始まった。利用者の評判は高く、徐々に他県にも伝わり、現在は、香川県11社、愛媛県2社、長崎県15社、山口県2社、広島県1社、大阪府1社、北海道1社で運行中だ。昨年6月には「全国子育て





## 5 降り際にも目配り

降りる時にも絶対に目を離さない



## 6 降りた後まで見守る

最後まで必ず車を降りて、子供の最終的な行き先まで付き添う



## 4 料金はメーター運賃のみ

定期的な利用者には割引サービスする会社もある

てタクシー協会」が発足した。

### 保育実習を受けた運転手が対応

では「子育てタクシー」とは具体的にどんなサービスなのか。利用者と同乗させてもらった。

午後5時40分、香川県高松市のアパートの前にタクシーが止まりました。「花園タクシーです。お迎えに来ました」。ドアホン越しに呼ぶタクシーの運転手に答えて出てきたのは、小学校3年生の松本俊夫君(仮名)。運転手が見守る中、家に鍵をかけ1人でタクシーに乗り込む。行き先は6km離れた合気道の道場だ。

俊夫君の両親は共働きである。最近、子供を狙った凶悪犯罪が増えており、安全のためにも道場まで送り迎えをしてあげたいが、両親とも仕事で、俊夫君の塾や合気道などの習い事の時間までに帰宅できない。

「夫は単身赴任中だし、実家も離れているので近くに頼れる人がいません。でも、息子には好きな合気道が続けさせてあげたい。それで、子育てタクシーを利用することにしました」(母親の正子さん)

仮名)

タクシーの中で、運転手とおしゃべりするうちに、道場のあるビル前に到着。俊夫君の合気道道場はこのビルの3階にある。タクシーを降りた後も、運転手は道場入り口までしっかり付き添って無事を見届ける。料金はメーター運賃だけ。サービス料金の上乗せはなしだ。

子育てタクシーの運転手は子供を相手にするため、保育の実習などの講習を受けている。「子供に慣れているので普通のタクシーよりずっと安心して任せられます」と正さんは語る。

残業が入るといったん保育所に子供を迎えに行き、職場に連れて戻らなければならなかったといった母親たちも「子育てタクシーを使うようになって、負担が減った」と喜ぶ。

### 母親の声を直接集める

子育てタクシーの具体的な企画を最初に立案したのは、NPO法人わははネット理事長の中橋恵美子さんだ。わははネットでは育児情報を配信したり、親子で遊びに